

H-II Aロケット23号機による  
全球降水観測計画主衛星(GPM 主衛星)の打ち上げについて  
(内閣府特命担当大臣(宇宙政策)談話)

本日早朝、H-II Aロケット23号機により、全球降水観測計画主衛星(GPM 主衛星)の打ち上げが成功したとの連絡を受けました。

今回打ち上げた衛星は、我が国の高性能レーダを搭載するなど、日米が共同して開発したものであり、国際協力により実施される全球降水観測計画の一環として、主な役割を担うこととなります。

これにより、地球規模の気象災害の把握や予測精度の向上等に貢献することを期待しています。

また、今般、我が国の基幹ロケット(H-II Aロケット、H-II Bロケット、イプシロンロケット)の打ち上げが22回連続で成功したこととなりました。このようなロケット技術の信頼性の高さは、我が国の自律的な宇宙輸送能力を維持し、宇宙利用を拡大していく上で重要な意義を持つものです。

引き続き、内閣府特命担当大臣(宇宙政策)として、宇宙開発利用に関する取組を積極的に推進してまいります。

平成26年2月28日  
内閣府特命担当大臣(宇宙政策)  
山 本 一 太